

十七文字の抒情詩

三月に入って春らしくなったな～と思っていると冬に逆戻りのような雪…
皆さん風邪などひいていらっしゃいませんか？
温度差の激しい中インフルエンザ、花粉症と身体にはつらい日々。
でも、確実に水温む春は訪れます。桜の花ももうすぐですよ～。
さて、今月も十七文字に投句ありがとうございました。

日出彦さん、前回の投句間に合わなくて申し訳ありませんでした。
今月に入れさせていただきます。

日出彦さんの投句（前回分）

初富士やキャベツ畑のその先に

写真が添えてありました。キャベツ畑の向こうに富士さんが見えています。
その先に…という表現が面白いですね。

初詣日暮れて社殿あかあかと

参拝の足を逃れし残り雪

三句とも年初めの厳かさや静かな雰囲気が出ていて良い句だと思います。

冬籠り銀杏並木は枝伐たれ

銀杏並木は季語にはならないのかな～ちょっと気になります。

* 冬籠枝を伐たるる並木かな

成人日振袖群れるコンコース

振袖とコンコース…成人の日の若さとのバランスが良いですね。

寒月の街静まりて犬走る

街静まりて…が少し説明的です。説明すると句に面白みがなくなってしまいます。

* 寒月や眠りの街の犬走る

竹林を木枯らし渡る猫ごごむ

* 木枯や樹木も猫も屈ませて

初雪や受験の子らのかしましき

良い句なのですが、初雪（冬） 受験（春）の季重なりになっています
さらっと *初雪や学生たちのかしましき で良いのでは…？

雪止まずセンター入試静まりて

雪止みて墨絵の山を霧めぐり

一度にたくさんの言葉（雪止む 入試 静まる 墨絵の山 霧）を
入れてしまうと句がかえってぼやけてしまう場合があります

* 降り続く雪のセンター試験かな（雪と試験も季重なりなのですが・・・）

節分や富士あざやかな旅の窓

* 節分や富士くっきりと旅の窓

福豆の売れ残り売るしわき声

この句良いですね、豆売りのおじさんの声まで聞こえてきそうです。

ゆうこ



新幹線遅れて来たり西は雪

発想は面白いです。遅れて来たりをもう少しやわらかくして

* 定刻を遅れる汽車や西は雪

* 定刻を遅れると言ふ西は雪 物語を読み手に想像させるのです。

立春や温い日差しと鳩の群れ

* 立春やひだまり選び鳩群れる

陽の照りに襟巻きを取る田舎道

* 歩きつつ襟巻きを取る田舎道

前に作った句で「春ショールはずす視線の色香かな」ってのがあったけど…

こんな風に瞬間を切り取って詠むと面白いと思います。

白梅に峰を隠せし富士はるか

* 白梅やはるかに富士の峰隠す

ストーブが故障となりて寒の明け

* 寒明や故障となりし暖房具

竹林に猫逃れける春疾風

* 竹林に隠れる猫や春疾風

ストックのマスク取り出す春一番

マスクは冬の季語なのです。春一番は春の季語だし、難しいですね～。

* 買置きのマスク山積み風強し

マフラーに首うずめけり春なれど

意味はとても良くわかりますが、ここでも季重なりが気になります。

* 春などと名ばかり襟に首うずめ

春の雪 3D にて迫り来る

3D という言葉が面白いのですが、いっそ THREE-D としてはどうでしょうか

* 春の雪 THREE-D にて迫り来る

廃品の山も美し名残雪

美しい・・・のような形容詞は俳句ではなるべく使わない方が良いでしょう

* 廃品の山覆ひをり名残雪

日出彦さん、たくさんの句をありがとうございました。

面白い句がたくさんあって、私も勉強させていただきました。

次回も宜しく願います。

続いて健さんの句です。

連翹の黄が眩しいと風来坊

風来坊に連翹の黄が眩し

連翹や放浪癖の覚めやらず

連翹の3句です。連翹の花は黄色ですので黄は不要かと思えます。

この句の中では 「連翹や放浪癖の覚めやらず」 がいいですね。

* 連翹やふつつ湧きし放浪癖

* 連翹や風来坊の目の細さ

山の辺へ続く小道やれんげ草

三山の一つが見えぬ紫雲英の野

どちらも春の感じが良く出ている良い句です。

白梅の枝先見えし神楽坂

黒塀を超ゆる白梅神楽坂

坂道でふと見ると塀の向こうから枝を伸ばした白梅が…

* 白梅や黒塀続く神楽坂

水槽の底にビー玉春浅し

この句はすごくいいですね～。季語とまったく関係ない事がらを持ってきて、しかも季語が生きている。お上手です。

「春料理」 菜はざっくりと大きくと

* 春料理ざっくりと切る京野菜

灯を点す煉瓦通りや春の雪

天上に横たふ北斗春立ちぬ

サイフォンの沸き立つ泡や二月尽

朝焼けのビルの林立鳥帰る

夕暮れの岬の道や大根花

～～や（切れ字）最後が名詞止めなどの俳句の基本がきちんと出来ていてどの句もお上手だと思います。

特に好きなのは サイフォンの沸き立つ泡や二月尽 と朝焼けのビルの林立鳥帰る すごく良い句だと思います。

健さんも投句ありがとうございました。だんだんに腕をあげていらっしゃるの、私も負けていられません。俳句は一日一句と言います。続ける事が上達の道だと言われます。こつこつとがんばりましょう。

ときめきもろまんすも喜寿梅香る

草萌やハイジのパンの焼きあがる

スローモーションのやうに椿の落ちにけり

次回は 桜 初夏雑詠です 投句お待ちしております。